

重症心身障害児者等支援体制検討会報告書

(案)

～たたき台～

令和7年 月

重症心身障害児者等支援検討会

目次

1. はじめに(検討会設置の背景)
2. 検討会における検討内容
3. 検討会により確認された課題と考えられる方向性
4. ニーズ・意識調査からの分析
5. 今後の取組みの方向性

1. はじめに(検討会設置の背景)

- 湘南東部障害保健福祉圏域における重症心身障害児者の状況
- これまでの県の取組・施策から検討会設置に至るまで
- 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～
- 本人はもとより、家族や関係市町村、事業者、医療関係団体等と必要な支援体制について検討していく旨知事の答弁

これらの内容を整理して記載

2. 検討会における検討内容

○ 検討会で検討事項をGHの設置に主眼をおいて検討した理由と県が目指すものを記載

- ・ 藤沢市障がい者総合支援協議会による提言書では、ライフステージごと、全世代で通底する課題が挙げられた。
- ・ 事前準備会の中で、湘南東部障害保健福祉圏域に施設がないという現状を踏まえ、住まいの場をどう作っていくかということにテーマ設定して検討していくことを確認した。
- ・ 重心の方は在宅生活で限界を迎えると施設入所を希望される状況にあるが、GH等の選択肢がないため、住み慣れた地域から離れた重心施設への入所を検討するしかない現状。
- ・ どのような障害があってもその方が望む暮らしを実現できるよう、地域に溶け込んだGHなどでの暮らしを作ることを目指す。

これらの内容を整理して記載

3. 検討会により確認された課題と考えられる方向性

○ 以下を文章で整理して記載

・ 設置上の課題

分類	課題	課題に対する方向性・イメージ（案）
人材確保	・ 人員（特に看護師）の確保と支援の質の確保が必要 ・ 看護職員を配置しても国報酬だけでは、経営が苦しい	・ 看護師向けに実践をイメージした現場実習を開催 ・ 看護職員配置に係る補助金の検討 ・ 公立病院のOB/OGを人材バンク化して派遣する等の体制、人員確保の仕組み作り
運営	・ GH単独での事業展開は難しい ・ 重心者や医ケア者を受入れる場合、現在の制度では、経営が成り立たない ・ 運営法人探し	・ 現在生活介護等の通所施設を運営する事業所への打診 ・ 運営予定法人の経営基盤の構築を後押しするため、先行事例の実態調査・分析を行い、運営ガイドブックを作成する方向で検討
連携	・ ケアの個性が必要。利用者、家族の安心のためには、施設並みの医療体制が必要 ・ 地域で生活するための資源とのつながりの確保	・ 家庭の中で1対1で行っていることに近い支援が行える人員体制の確保 ・ 緊急時の対応や医療機関との連携体制の確保
利用ニーズ	・ どのようなニーズがあるか把握できていない	・ ニーズ・意識調査を実施、調査結果をもとに、施設がない中、どのようなグループホームが必要か検討

○ 視察した2事業所の設置に至った経過や運営状況を整理 そこから見た課題として、以下を整理

・ 継続的な運営の課題

分類	課題	課題に対する方向性・イメージ（案）
継続的な人材の配置	・ 人員の確保と支援の質の維持・継続	・ 法人における人材確保における困り感の把握・打開策の検討
運営	・ 管理者等が代わっても、安定した運営の維持を確保	・ 運営予定法人の経営基盤の構築を後押しするため、先行事例の実態調査・分析を行い、運営ガイドブックを作成する方向で検討
連携	・ 必要な医療的ケアや支援を限定された時間帯ではなく、必要な時に受けられる体制の維持	・ GHの中で必要なサービスを担うのではなく、地域の他のサービスも活用してサービス体制を担保
余暇・日中活動の充実	・ 生活介護先の確保と連携 ・ ご本人の意向に基づいた余暇や外出支援の充実と支援体制の確保	・ 現在利用中の生活介護等通所先を確保、連携する体制の確保

4. ニーズ・意識調査からの分析

○ 圏域の 18 歳以上の生活介護利用者を対象に行った直近5年の生活をイメージした調査結果の分析

- ・ 調査対象者の状態像（年齢、ADL、必要な医療的ケア）
- ・ 主な介護者と介護者の年齢、健康状態
- ・ GHで生活したい方の年齢層
- ・ 在宅からGHを希望しているのか、GHで暮らしている方が継続して生活を希望しているのか
- ・ 直近5年以内に使いたいサービス
- ・ どんなことに暮らしにくさを感じているか

等を分析し、想定する（必要とされる）GHの規模感、利用対象者、地域サービスと連携したサービス体制設定のイメージを提示

5. 今後の取組みの方向性

- ニーズ調査結果も踏まえ、設置上の課題、継続的な運営上の課題において、短期的に取り組むべき課題と中長期的に取り組むべき課題について、方向性の整理

(県で検討している動き)

R7年度から始めること

- ・ 看護師養成研修事業の継続と一部新規研修事業開始
- ・ 運営に係る実態調査・分析⇒運営ガイドブック作成
- ・ 運営法人の開拓と土地の確保

令和8年度以降の動き

- ・ 既存事業所における看護師配置に係る費用補助
- ・ 運営法人公募
- ・ (公募後)運営予定法人への運営コンサルティング

ご意見をお願いします。

重症心身障害児者等支援体制検討会 委員名簿

委員氏名	所属・役職名等
石渡 和実	東洋英和女学院大学 名誉教授
島村 孝子	藤沢市肢体不自由児者父母の会 会長
森下 浩明	社会福祉法人みなと舎 理事長
佐藤 敏彦	湘南東部障害保健福祉圏域地域生活 ナビゲーションセンター 事務局長 (特定非営利活動法人 藤沢相談支援ネットワーク)
臼井 健智	藤沢市障がい者支援課 参事
鈴木 朗	茅ヶ崎市障がい福祉課 課長
中澤 栄子	寒川町福祉課 課長
有識者氏名	所属・役職等
齊藤 祐二	湘南東部障害保健福祉圏域地域生活 ナビゲーションセンター 理事長 (特定非営利活動法人 藤沢相談支援ネットワーク)

検討会開催状況

【第1回】 令和6年7月1日(月)	課題の論点整理
【第2回】 令和6年 10 月9日(水)	共有された課題と方向性① ニーズ・意識調査について①
【第3回】 令和6年 12 月5日(木)	共有された課題と方向性② ニーズ・意識調査について②
【第4回】 令和7年2月4日(火)	報告書の項目について
【第5回】 令和7年3月	